

守門将交代儀式

朝鮮時代、守門将(スモンジャン)は都城の門 興仁之門(ワンインジムン)や崇礼門(スンニエムン)など 景福宮(キョンボックン)など王が生活する宮殿の門を守る責任者でした。守門将は定められた手順に従って門の開閉を行い、交代で勤務しながら王と王室を護衛し、国の安全を守る役割を果たしていました。

『朝鮮王朝実録』によると、守門将は1461年(世祖7年)に初めて登場し、宮殿の護衛が重要視されるようになったことで、1469年(睿宗1年)に守門将制度が確立されました。その後、宮殿および都城を守ることが王室の安全のために最も重要な任務であると認識されるようになり、守門将は西班4品以上の武官の中から兵曹の推薦を受け、さらに王の裁可を経て任命されるという手続きを踏むようになりました。

守門将制度は朝鮮時代の法典『経国大典』で正式に法制化され、これにより守門将の任務も、門を守るだけでなく、国が定めた標信による通行者の管理や、王の巡行により体制に空きが生じた場合は、宮殿の門の開閉や宮殿の鍵の管理など、業務が明確に定められ、運営されていました。家遺産振興院は、守門将制度が整備された15世紀の朝鮮前期を背景に、守門将交代儀式を再構成しました。また、『経国大典』『兵典』や『世宗実録』『五礼儀』、『朝鮮王朝実録』などのさまざまな文献資料に基づき、服飾や武器、儀仗具を製作し、活用しています。

朝鮮の法宮である景福宮で再現される守門将交代儀式を通して、朝鮮王朝の護衛文化の真髄をご体感ください。



守門将交代儀式 特別イベントのご案内



歳画プレゼント

新年に歳画を贈り合っていた風習にならい、守門将が、邪気を祓い福を呼び込む歳画を配布します。

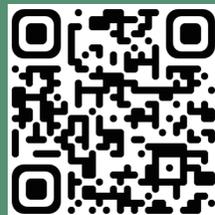
日時：旧正月連休期間中
場所：景福宮一帯



子どもの日特別イベント

かわいらしい守門軍のキャラクターが登場する光化門把守(守衛)儀式が行われます。また、朝鮮時代の兵士になる「甲士取才」体験も楽しめます。

日時：子どもの日
場所：景福宮一帯



国家遺産振興院



宮殿イベントの案内
インスタグラム





1 守門將交代儀式

当直していた守門將と交代する守門將が互いに身分確認を行い、交代する様子を再現した伝統文化行事です。15世紀の史料をもとに再現された衣装と儀式用具を身につけた守門軍が、朝鮮時代前期の兵士の姿をリアルに再現します。

2 光化門把守儀式

光化門を守る番兵が勤務交替する様子を再現します。吹螺赤が合図用の楽器である「タク」と呼ばれる小さな鐘を鳴らして守門將の命令を伝え、守門將が番兵の武器管理や勤務態度を確認する「摘好」を行います。

3 守門軍公開訓練

守門軍の訓練の様子を観覧することができます。

4 守門將巡邏儀式

朝鮮時代に都城の治安を守っていた巡邏軍による巡察の様子を再現した伝統文化行事です。巡邏軍の行列が吹打隊の演奏とともに行進する様子をご覧いただけます。

- ・行事が行われる時間や場所は都合により変更される場合があります。
- ・雨天、猛暑、寒波、高い大気汚染物質濃度などにより、イベントが中止になる場合があります。
- ・「守門將交代儀式」、「光化門把守儀式」、「守門軍公開訓練」は、景福宮の休宮日を除き、年中常設で実施されます。

*休宮日：毎週火曜日 詳細は景福宮のホームページをご確認ください
<https://royal.khs.go.kr/gbg>